

【調査手法 選択講義一覧】

講義名	講義概要
実験デザイン・野外調査の方法	研究計画を立案する際に、観察・実験はどのように設計され、どのような役割を期待されるのでしょうか。実例を取り上げつつ考えてみましょう。また、得られた実験結果の検証・考察方法についてもご紹介します。実験を実施する際に役に立つ探究・SS ラボや、実施の際に欠かせない安全・衛生管理についても触れます。
文献調査の方法	「ほとんどの論文は論文以外のもの(卒業・出世・お金など)のために書かれる」という認識を出発点にして「論文のために書かれる論文」の可能性について考えます(大人数を想定していません)。文献をコピー&ペーストする論文にはほぼ意味はありません。論文をいかに、自分自身の関心のもとに集め、解釈するのか。いっしょに考えてみましょう。
データベースを基にした調査の方法	法令、企業財務情報、新聞、統計、科学技術オープンデータ等を利用して、既に誰かがまとめているデータを処理・考察することで研究を進める手法を紹介します(といっても、担当者は情報を探索する専門性は多少ありますが、法学・経営学・歴史学等の研究方法は専門外なので、詳しいことはお伝えできません)。
アンケート調査・統計分析の方法	アンケートを実際にとって、分析する手法の基礎を紹介します。時間があればアンケート項目を一緒に考えてみたり、エクセルを用いた分析を一緒に行いたいと思います。当日はネットワークにつながった PC を持参してください。(内容は受講者の希望により変更することがあります)
インタビュー・参与観察・アクションリサーチの方法	聴き取り調査(インタビュー調査)や参与観察における基本について、調査の実際をふまえて紹介します。今回の講義では、学校外の方へのインタビューなども想定した内容を提供する予定です。